

E&Eレポート

No. 88

発行日 2009年1月28日
 発行元 E&Eプランニング
 責任者 宮本康弘
 川崎市中原区市ノ坪223-4-515
 電話/FAX 044-434-7291
 メール miyamoto@d03.itscom.net

■省エネ、環境機器システム

山武がCO2総量把握や管理支援マネジメントシステムを販売開始。

インターネットを利用してデータの入力やコンテンツの閲覧を行い、事業者としての総量把握、環境管理組織体系に基づく集計などが可能。目標設定機能や入力の支援機能、進捗管理機能、原単位比較やベンチマーク機能などを搭載し、対象事業所のエネルギーやCO2削減可能性につながる参考データもweb上で閲覧できる。事業所内の系統別のエネルギーやCO2排出量を見る化し、より詳細な省エネルギー、省CO2施策立案検討に活用。インターネット接続のPCで事業者全体のエネルギー／CO2の総量管理も可能。1～10事業所の場合30万円／年から(初期導入費用別途)。「ニュースリリース」

(コメント:エネルギー管理とCO2排出量管理は一体管理が必要になる。)

日経リサーチが環境経営への取り組みを「環境偏差値」で評価するサービスを開始。

環境負荷では、CO2排出量のほか、廃棄物の発生量や最終処分量など、環境管理体制では、長期的な環境目標の有無など300項目を調べる。CO2排出量など一部の項目は業種による差が大きいので、産業や非製造業などの分野ごとに評価する。最終的な偏差値の算出には、業績データを組み入れ、環境活動と収益性のバランスも重視する。偏差値データとともに、不十分な点の改善に向けた助言もする。調査期間は約1ヶ月。費用は31.5万円から。新しい環境経営指標として定着をめざす。「日経産業新聞」

(コメント:CO2が企業経営の指標としてますます重要性を増すだろう。)

ソニーが人感センサで自動的に消えるECOテレビを発表。

CES 2009のプレス・カンファレンスで、バックライトの変更などによって消費電力を40%低減した「BRAVIA ECO HDTV」の40型、46型、52型を2009年夏に北米市場で発売する。今回の製品は新しい省エネルギー機能をいくつか加えて、一つは、人感センサによって、テレビの前から人がいなくなると一定時間後に画面をオフにする機能を備えている点。人感センサは赤外線によって人の動きを検知し、動きがなくなると自動的に画面を消し、人が戻ってきてテレビの前に来ると再び画面をオンする。「BPnet」

(コメント:まず、見ている人が省エネ意識を持ち、スイッチを切ることが重要。)

日立が消費電力を27%削減したモジュール型データセンターを発売。

仕切りで覆われた空間にサーバやストレージ(外部記憶装置)、冷却装置などを配置し、背面に排熱冷却用の水冷ドアを設置したサーバ用ラックと、ラック型の空調機を交互に配置する。サーバの排熱は水冷ドアで冷却されてサーバ背面に放出される。この排熱を、隣に配置した空調機が冷却。冷風としてサーバ前面に送ることにより、熱風と冷風の効率的な循環を実現し、モジュール内のIT機器と冷却装置の稼働効率を最適化することにより、消費電力を従来比で最大27%削減。サーバ用ラックを2～13本設置可能。モジュール内にIT機器を集中配置し、設置面積を従来比で最大75%削減。データセンター機能をパッケージ化して販売することで、構築期間を従来比3分の1の約2カ月に短縮。構築費用は3500万円から。「日刊工業新聞」

(コメント:冷却用のエネルギーの27%はサーバの全消費電力の何%になるのか?)

カワサキプラントシステムズが小水力発電システムに参入。

水車と発電機を一体構造とし、従来型水車に比べて半分以下のサイズを実現。水潤滑タイプの軸受けを採用し、騒音や振動も抑えた。20キロワットから500キロワットまでのラインナップをそろえ、浄水場、工場プラント向けに売り込む。小水力発電システムは二酸化炭素排出量が少なく、発電量変動も小さいことから普及が期待されている。「ビジネス アイ」

(コメント:未利用エネルギーの徹底利用は必要。)

東京都が200台以上の車保有会社に低燃費車5%以上保有を義務つける方針。

2011年度から5年以内に5%以上にすることを求める。守らない場合は企業名を公表する。対象は、運送会社、レンタカー会社、飲料メーカー銀行など約180社。現在、合計11万6000台保有。車の排気量は対象外。2月の都議会に条例案を提出予定。

(コメント:体力のある企業にはある程度強制的な政策も必要。)

「読売新聞」

ナカバヤシが工事不要のLED蛍光灯を発売。

通常の蛍光灯に比べ消費電力も4割以上削減できる。明るさや光の色が従来の蛍光灯とほぼ同じ。価格は40ワットタイプで1本2万5000円程度。寿命が4万時間と長く消費電力も少ないため、6年以上使えば従来の蛍光灯より総コストが安くなる。制御回路を工夫することで従来の蛍光灯取り付け器具で使え、通常の蛍光灯に簡単に戻すことも可能。2009年度の改正省エネルギー法施行で省エネ照明の需要が拡大見込みのオフィス向けに主に売り込む。「日経NET」

(コメント:互換性があるのは面白い。省エネ効果はすぐに出来るが、高すぎる。)

三菱電機が次世代無線技術利用の計測・省エネシステムを開発。

自らの位置を±15cmの精度で検出できるネームプレート型の無線端末で、人の密度や動態や温度などの環境データを計測し、室内で人の密度が低い場所や活動量が低い場所の空調を抑えたり、人のいない場所の照明を落としたりするなど、空調設備や照明器具を適切に制御して無駄な運転を抑え、最大30%の省エネが期待できる。また、ビルの省エネルギー性能を診断する環境計測作業工数も半減できる。2009年1月施行の建築物のエネルギー性能に係る欧州指令Energy Performance of Buildings Directiveにも利用可能。「ニュースリリース」

(コメント:無線端末の消費電力と価格が気になる。)

■省エネ、環境政策動向

2/2

東京都が中小企業対象の省エネ設備投資に環境減税実施の方針。

減税の対象は、都内約50万社の中小企業のうち、5年間で約4万社を想定。現時点では、工作機械の動力や暖房などに使用するボイラー、空調・照明設備などを省エネ仕様に取り換えた企業を対象に、法人事業税の納税予定額の半額を上限にして、設備投資額の半額を差し引く方向。都内約1300の大規模事業所を対象に、10年度からCO2の排出量削減を国内で初めて義務付ける条例を設けている。今回の減税は、この条例の対象外の中小企業にも省エネ化を促す誘導策。減税規模は5年間で総額250億円。温暖化対策を基に企業の設備投資意欲を高めることを狙ったもの。
「読売新聞」

経産省が家庭向け燃料電池の補助金の上限を140万円に設定。

補助対象は、設置費込みの価格から30万円を引いた半額分のため、販売価格が310万円の場合で、補助金が上限の140万円になり、残り170万円を購入者負担になる。燃料電池による節減額は大きくなく、東京ガスが、年間の電気代とガス代が27万円の世帯で試算したところ、節減額は年6万円程度にとどまる。補助金を活用し、170万円の自己負担で設置しても、回収に30年近くかかる。十数年後に、販売価格は40万円程度にまで下がる見込み。
「ビジネスアイ」

(コメント:CO2削減効果はどの程度あるのか?)

08年度のグリーン電力証書の認証量が07年度に比べ倍増。

12月末時点での認証量は1億9200万kWhとなり、過去最高。洞爺湖サミットで利用され認知度が上がったことと、温室効果ガス削減対策として利用する企業が増えたことが主な理由。ソニーや山田電機といった購入実績のある企業による購入の増加。NTTファシリティアーズなど新に証書発行ビジネスに参入する企業や組織も増加傾向にある。認証量の8割以上がバイオマス発電。

(コメント:企業の排出量の計算に組み込めるようにすれば、もっと)

と普及するのだが。) 「日経産業新聞」

政府は省エネ投資の「即時全額償却制度」を09年夏にも導入。

省エネ投資が工場などのエネルギー効率を年1%以上高めることなどが条件。省エネ性能の高い液晶テレビなどを作る設備にも即時償却を認める。景気後退で省エネ事業の見直しを迫られている企業の投資意欲を下支えする。日本企業のエネルギー効率を一段と高め、二酸化炭素(CO2)の排出量を削減する効果も期待している。即時償却は、工場の機械などについて、取得額の全額を初年度に費用(損金)として課税所得から差し引く制度。投資する年の税負担が軽くなり、企業が資金を出しやすくなる。

(コメント:景気刺激策と省エネ促進両面から良い施策。)

「日本経済新聞」

■展示会、講演会

川崎国際環境技術展2009 <http://www.city.kawasaki.jp/28/28kogyo/ecotechfair/ecotechfair.html>

開催期間 : 2009年2月17日(火)~18日(水)
場所 : とどろきアリーナ(川崎市)
料金 : 無料
主催 : 川崎国際環境技術展実行委員会
連絡先 : 川崎市経済労働局産業振興部工業振興課 Tel :044-200-2313
メールアドレス : 28kogyo@city.kawasaki.jp

平成20年度 エネルギー使用合理化シンポジウム <http://www.ecci.or.jp/>

改正省エネ法について講演があります。

開催予定 : 2009年2月~3月 地区により異なります。HPで確認ください。

ビル:<http://www.ecci.or.jp/education/sympo2/08/index.html>

工場:<http://www.ecci.or.jp/education/sympo3/08/index.html>

関東地区 ビル:2月4日、工場:2月18日 品川区 五反田「ゆうぼうと」ホール
近畿地区 ビル:3月5日、工場:2月19日 WTCコスモタワー 2F WTCホール
料金 : 無料
主催 : (財)省エネルギーセンター
連絡先 : (財)省エネルギーセンター TEL : 03-5543-3182

後記 男心どれだけわかる? 女性の「恋愛能力」を測定する玩具

日経産業新聞

男性心理の理解度を測定する携帯玩具「女試し。」をバンダイが発売する。

女性に飲んでほしい飲み物、女性に告白されたい場所といった質問に女性が答えると、問題の難易度と正答数によって独自の指数を算出する。

独身男性1000人のアンケート調査を通じて女性の好きなしぐさやせりふなどを収集し、100問の質問を用意した。1回のゲームで出題される5問に答えると、男性への理解度を示す指数「moteQ(モテキュー)」が表示される。希望小売価格は2499円。

(男性用があれば試してみたいですね。)

